ボーリング柱状図

調　　査　　名　呉海岸　高潮対策事業に伴う業務委託（天応地区）

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	3	4	4	1	0	0	6

シートNo.　6

ボーリング名	No.6	調査位置	呉市天応大浜		北　緯	34° 17’ 15.9411”
発 注 機 関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	平成29年 3月 8日～平成29年 3月 9日		東　経	132° 30’ 48.7758”
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 3.10m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配 0° 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	10.00m	使用機種	試錐機	東邦D2G-58	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン	ヤンマーNS-130	ポンプ	東洋BP1

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日
1					砂質土	茶褐	非常に緩い		マサ土からなる埋土 砂は中～粗砂主体 径5cm以下の角礫を少量混入する GL-2.0m付近まで径10cm程度の玉石を点在する		
2											
3	-0.40	3.50	3.50								
4	-1.40	1.00	4.50		玉石	暗青灰			径10cm程度の玉石を主体とし，コンクリート殻を混じる		
5					砂礫	暗青灰	中ぐらい		径1～3cmの角礫を70～80%混入する マトリックスは粗砂状を呈す		
6	-2.90	1.50	6.00								
7	-4.50	1.60	7.60		礫混じり砂	暗茶灰	中ぐらい		径3cm以下の角礫を10%程度混入する 砂は中～粗砂主体		
8	-5.70	1.20	8.80		シルト混じり砂	暗灰	緩い		貝殻片混を少量混入する 砂は細～中砂主体		
9					砂	茶灰	緩い		砂は中～粗砂主体 粗砂状の小礫を少量混入する		
10	-6.90	1.20	10.00								
11											
12											
13											
14											
15											

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値
1.15	2	2	2	6/30	
1.45					
2.15	1	1	1	3/30	
2.45					
3.15	1/22	1/18		2/40	
3.55	貫入不能			50/0	50以上
4.00					
5.15	5	5	5	15/30	
5.45					
6.15	5	5	5	15/30	
6.45					
7.15	4	3	4	11/30	
7.45					
8.15	2	3	3	8/30	
8.45					
9.15	2	3	3	8/30	
9.45					
10.15	3	3	2	8/30	
10.45					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験

深度 m	試験名及び結果

試料採取

深度 m	試料番号	採取方法	室内試験
2.15	6-1	㊀	密含粒
2.45			
5.15	6-2	㊀	密含粒
5.45			
6.15	6-3	㊀	密含粒
6.45			
8.15	6-4	㊀	密含粒
8.45			
9.15	6-5	㊀	密含粒
9.45			

掘進月日：3/8　3/9